



四万十町の現状と主な施策について

※この資料は「令和5年第1回区長会説明資料」をベースに再編集したものです。



令和5年3月
企画課まちづくり推進室



花... エンコウツツジ
(キシツツジ)



鳥... ヤイロチョウ



木... シマントヒノキ

目 次

① 四万十町の人口

1. 過去の人口推移
2. 現状
3. 将来的な人口推計
4. 「四万十町人口ビジョン」
の策定

② 財政状況

- 本町と県内市町村の予算規模
- 当初予算額の推移
- 地方債及び基金額残高、
財政指標の推移

③ 課題解決のための施策

- まちづくりの指針
- 本町の課題及び主な施策
 1. 定 住
 2. 移 住
 3. 人材育成
- 文化的施設整備推進事業
- 子育て支援策の拡充

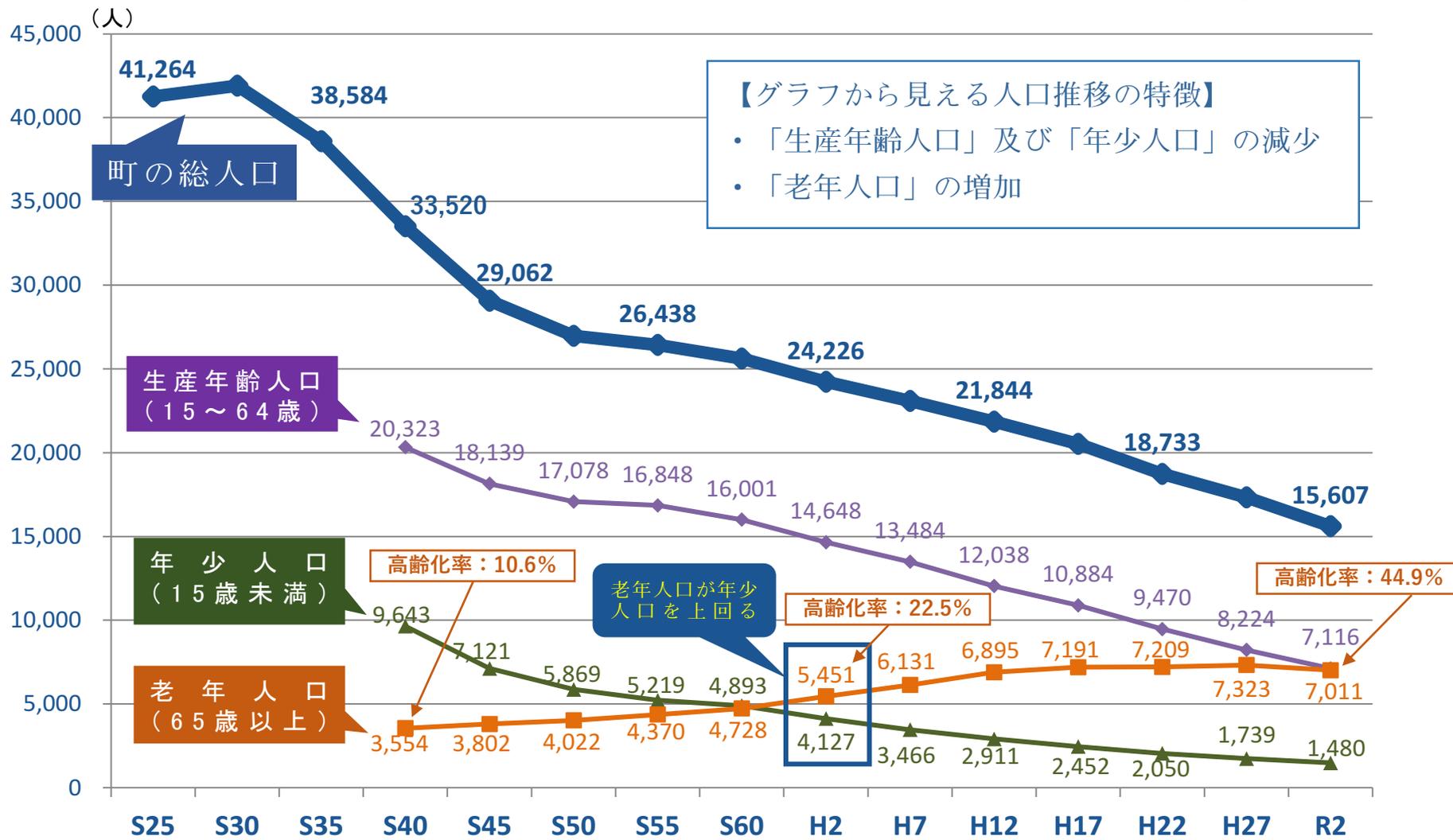
【参考資料】

- 四万十町基礎データ集

① 四万十町の人口

1. 過去 (S25~R2) の人口推移

[出典] 国勢調査



① 四万十町の人口

2. 現 状

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28-R02	H03	H04	
小学校数	19	18	→			15	13	12	→					
中学校数	6	→								5	→		4	3

[基準日] 毎年5月1日現在 ※休校を除く



	四万十町	十和地域	大正地域	窪川地域
人 口	15,664 人	2,374人	2,179人	11,111人
構成比	—	15.2 %	13.9 %	70.9 %
世 帯 数	8,047 世帯	1,190 世帯	1,111 世帯	5,746 世帯
面 積	642.28 km ²	164.71 km ²	199.38 km ²	278.19 km ²

		児 童 生徒数	施 設 数			
			計	十和	大正	窪川
保 育 所	町 立	266	8	2	2	4
	私 立	166	3			3
町 立 小 学 校		625	12	2	2	8
町 立 中 学 校		276	3	1	1	1
県 立 高 校		138	2		1	1

[出典] 令和4年12月末住民基本台帳

[基準日] 令和4年5月1日現在 ※休校を除く

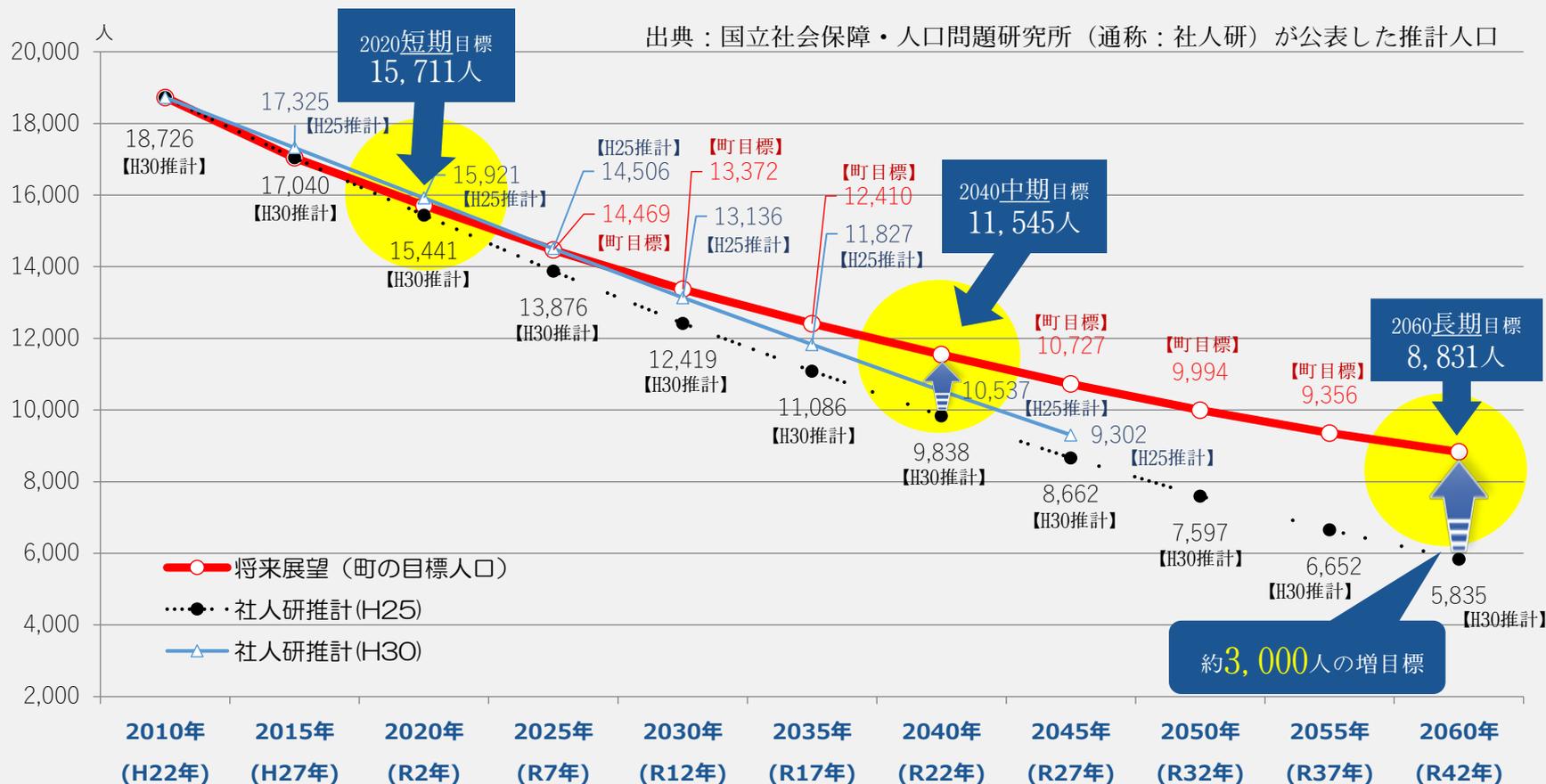
① 四万十町の人口

3. 将来人口推計及び「四万十町人口ビジョン」の策定 → 目標人口等を設定

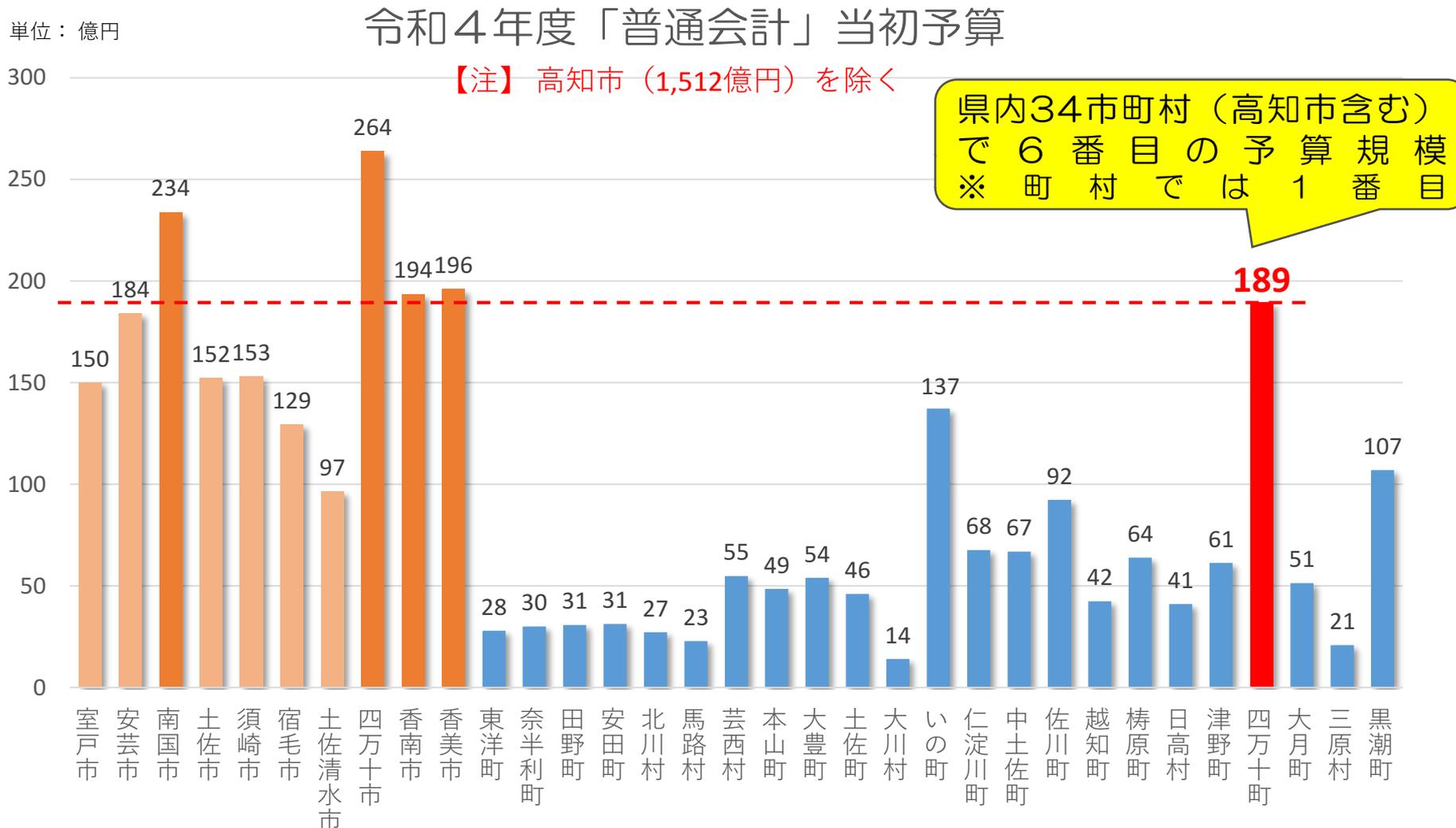
「四万十町人口ビジョン策定（目標設定）時における推計人口（平成25(2013)年推計）」と「最新の推計人口（平成30(2018)年推計）」の比較表

▶ 目標時期（R2・R22・R42年）において、いずれも前回(H25)の社人研推計及び町の目標人口を上回った

出典：国立社会保障・人口問題研究所（通称：社人研）が公表した推計人口

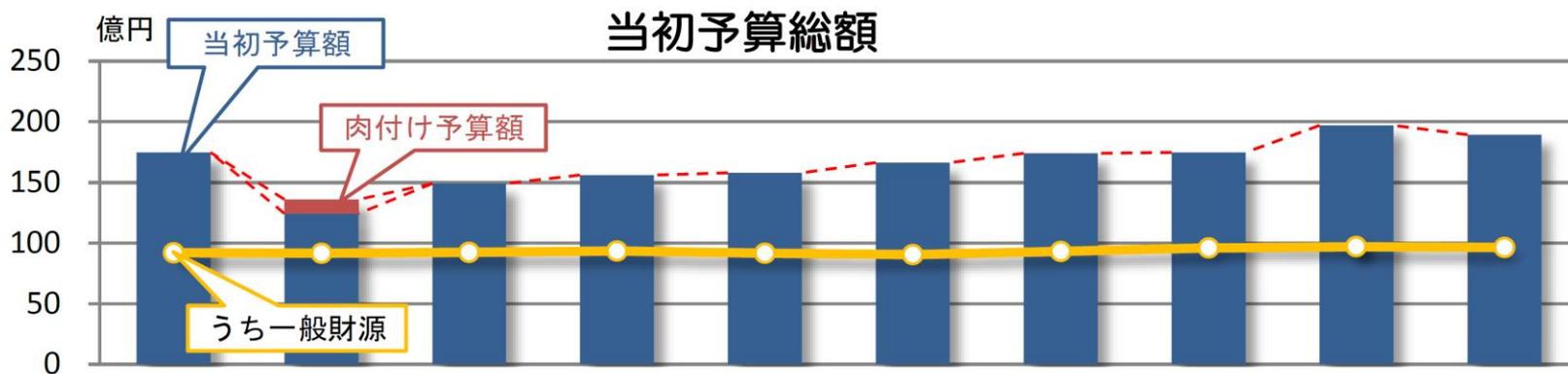


四万十町と県内市町村の予算規模



② 財政状況

▶ 四万十町の当初予算額の推移



単位：百万円

	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
当初予算総額	17,492	(13,596) 12,430	14,928	15,593	15,795	16,635	17,394	17,488	19,702	18,934
うち一般財源	9,207	9,147	9,236	9,333	9,172	9,048	9,305	9,590	9,691	9,638
<参考> 歳出決算額	18,592	14,500	16,039	16,361	16,488	16,021	16,836	20,251	—	—

※「平26」の上段（ ）書きは肉付け後の累計予算額

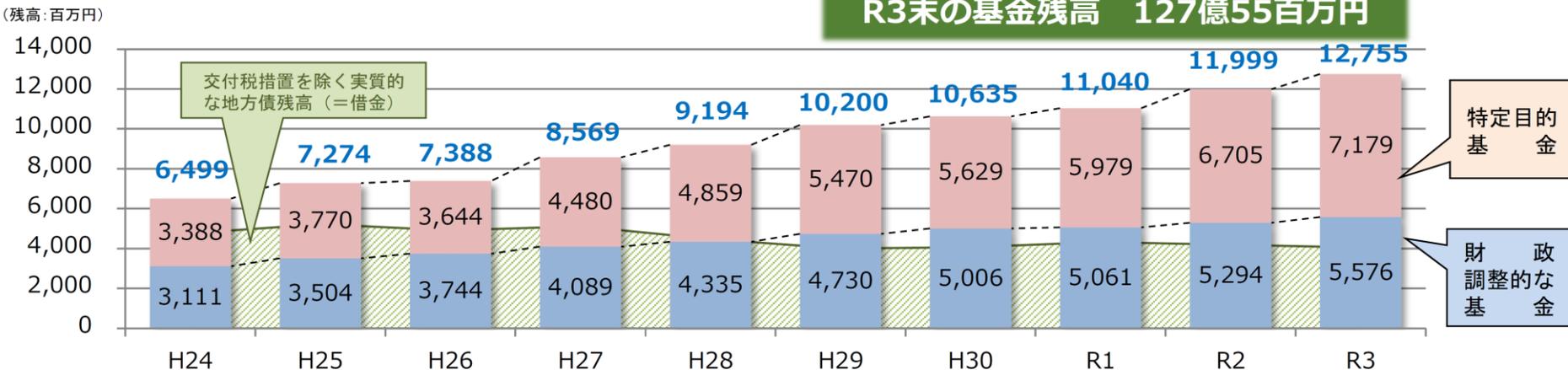
出典：令和4年度当初予算（案）の概要（四万十町総務課）

② 財政状況

▶ 地方債残高の推移



▶ 基金残高の推移 (積立基金)



まちづくりの指針（四万十町総合振興計画）

目指すまちの将来像

山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町

基本方針1 挑戦し続ける産業づくり

～活力ある産業が育つまちづくり～

【政策目標】

1. 特色ある農林水産業を生かすまち
2. 新たな地域ブランドで活力あるまち
3. 本物のおもてなしがあるまち

基本方針2 生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり

～誰もがいつまでも健やかに暮らせるまちづくり～

【政策目標】

4. まちの将来を担う人を育むまち
5. 生きがい・誇りを持てるまち
6. 元気で安心して暮らせるまち

基本方針3 日本が誇る四万十川流域の環境づくり

～自然と共生する持続的循環型のまちづくり～

【政策目標】

7. 広大な自然環境と共生するまち
8. 安全で快適な暮らしができるまち

▶町長3期目（R4.4～）の方針

3つの基本方針をベースにこれまでの好循環の兆しを継承・発展させつつ、本町の課題を克服し、更なる発展と活性化、にぎわいの創出に向け、新たな取り組みにも着手する。

主な具体的取組方針

- ・「事業承継の推進」
- ・「農山村地域への若者の定住促進」
- ・「災害に備えた“命を守る”対策の推進」

本町の課題及び主な施策

町の重点課題の1つ

人口減少・集落維持（担い手不足など）

主に下記の**3つの施策**により、町の重点課題の解決に取り組む

1. 定住（住宅）

・・・この町に残る人を増やすための施策

2. 移住

・・・この町に移り住む人を増やすための施策

3. 人材

・・・この町を担う人材の育成を行うための施策

1. 定住（住宅）施策 …四万十町に残る人を増やすための施策

本町の課題

若年層の町外転出による人口減少



課題解決の方法

住宅建築を促進することで、定住者の増加につなげる

●具体的な施策：定住のための住宅建築に対する補助

次世代を担う若者が町内に定住するための支援を行うことにより、活力に満ちた地域社会を実現

若者が地域に増えることにより、地域の活性化へ！

（1）「若者定住促進支援事業補助金」

町内に住宅を取得される方に最大100万円の補助金を交付
※申請者もしくは配偶者が、40歳以下の方が対象



親世代と子世代が町内で新たに同居するための支援を行うことにより、安心して暮らすことのできる地域社会を実現

2世帯以上の同居促進により、安心な暮らしの実現へ！

（2）「家族支え合い支援事業補助金」

直系親族の2つ以上の世帯が、町内で新たに同居するために住宅を取得、またはリフォームされる場合、最大100万円の補助金を交付



③ 課題解決のための施策

【1】定住（住宅）施策に関する補助実績

単位：件

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
(1) 若者定住促進 支援事業補助金	—	—	—	25	25	34	24	19	18
(2) 家族支え合い 支援事業補助金	—	—	—	8	5	17	10	9	17
町産材活用利用促進 助成事業補助金	27	19	20	14	18	11	11	16	13

[出典] 四万十町建設課調

【2】町内の住宅建築状況

単位：件

	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	7か年計	年平均
建築数	56	24	42	31	34	36	39	262	37.4
うち木造	53	24	42	31	34	36	38	258	36.9

[出典] 固定資産税課税台帳・住民基本台帳

※若者定住・家族支え合い補助金は「新築」だけでなく、「中古物件の購入」も補助対象としているため、年度によっては【1】>【2】がある

2. 移住施策 …四万十町に移り住む人を増やすための施策

本町の課題

人口減少に伴う集落存続の危機



課題解決の方法

移住者が「定住」することによる
地域力の維持・強化

●具体的な施策「段階的な移住・移住しやすい環境づくり」

移住希望者が本町を
短中期的に体験



移住・定住のため
の住宅支援



地域への定住へ



- ・お試し滞在施設
- ・短期滞在型宿泊施設
- ・移住体験ツアー助成
- ・クラインガルテン（市民農園）



- ・中間管理住宅
- ・移住支援住宅
- ・移住者賃貸住宅の家賃助成



③ 課題解決のための施策

(1) 移住希望者が本町を短中期的に体験

●お試し滞在施設（現在町内に5か所整備）

1か月1万円～2万円の家賃で、四万十町の生活を一時的に体験することができる施設。



●クラインガルテン（市民農園）

最長3年間の宿泊施設（ラウベ）や日帰り農園の利用を通じ、農村生活を体験することができる施設。



(2) 移住・定住のための住宅支援

●中間管理住宅

町が改修した空き家を、安価な家賃で移住・定住希望者へ賃貸する住宅。



●移住支援住宅

町外から転入して本町に居住しようとする移住・定住希望者に、安価な家賃で賃貸する住宅。



3 課題解決のための施策

お試し滞在施設

- ・ お試し滞在住宅の整備
(移住お試し用短期滞在施設)
- ・ 滞在型市民農園の整備
(農業体験型短期滞在施設)



👉 お試し滞在住宅

対象者： 将来移住を検討している方
入居期間： 1ヵ月単位（最長3ヵ月）
物件数： 5戸

👉 滞在型市民農園

入居期間： 1年間（最長3年）
物件数： 滞在型 22区画
日帰り型 16区画

※R5.02.01現在

👉 お試し滞在住宅利用状況

年度		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	計
戸数	窪川地域						1					-
	大正地域	1									2	-
	十和地域	1									2	-
利用人数（組数）		4(4)	18(8)	20(10)	17(8)	15(8)	14(8)	8(7)	15(9)	12(9)	29(15)	152(89)
うち地域別	窪川地域						5(3)	4(4)	5(4)	4(3)	6(4)	24(21)
	大正地域	1(1)	7(3)	11(5)	4(2)	6(3)	6(3)	1(1)	4(2)	4(3)	17(7)	65(30)
	十和地域	3(3)	11(5)	9(5)	13(6)	9(5)	3(2)	3(2)	6(3)	4(3)	6(4)	63(38)
定住人数（組数）		0(0)	6(4)	1(1)	0(0)	5(2)	10(5)	3(2)	7(4)	4(3)	7(3)	43(24)
うち地域別	窪川地域						5(3)		1(1)	3(2)		9(6)
	大正地域		1(1)			2(1)	5(2)		4(2)		6(2)	18(8)
	十和地域		5(3)	1(1)		3(1)		3(2)	2(1)	1(1)	1(1)	16(10)

移住支援住宅

- ・ 移住定住希望者用住宅
(中長期貸付住宅)

中間管理住宅



👉 移住支援住宅

対象者： 移住希望者限定
入居期間： 2年間
物件数： 7戸

👉 中間管理住宅

対象者： 移住・定住希望者用
入居期間： 2年間（更新可）
物件数： 36戸

※R5.02.01現在

短期貸付

長期貸付

(3) 地域おこし協力隊制度の活用

四万十町の現状と課題

- ▶ 少子高齢化の進行が著しい
- ▶ コミュニティの維持が困難
- ▶ 地域資源の有効な活用方法が見つからない



導入後の効果

- ▶ 隊員が定住することによる人口増加
- ▶ 地域のリーダーや担い手となれる人材の確保
- ▶ 地域資源の活用方法の提案

応募総数

199名

← 全国有数の応募者数

採用者数

73名

→ 高知県内では佐川町に次いで2番目の多さ



※「応募総数」及び「採用者数」については、平成24年8月1日～令和5年2月1日までの総数

(3) 地域おこし協力隊制度の活用による効果等

協力隊着任による人口の増加 (平成24年8月1日~令和5年2月1日)

- ▶ 活動中または定住した協力隊48名
- ▶ 活動中または定住した協力隊の家族 (定住後の出生含む) 40名



合計88名の人口増!

地域の活性化に貢献

- ▶ 地域の祭事やイベントに参加
- ▶ 住民との交流や憩いの場の提供



地域が元気に!

四万十町の魅力発信

- ▶ 協力隊ホームページの開設
- ▶ 協力隊Facebookの運用



四万十町の認知度UP!

③ 課題解決のための施策

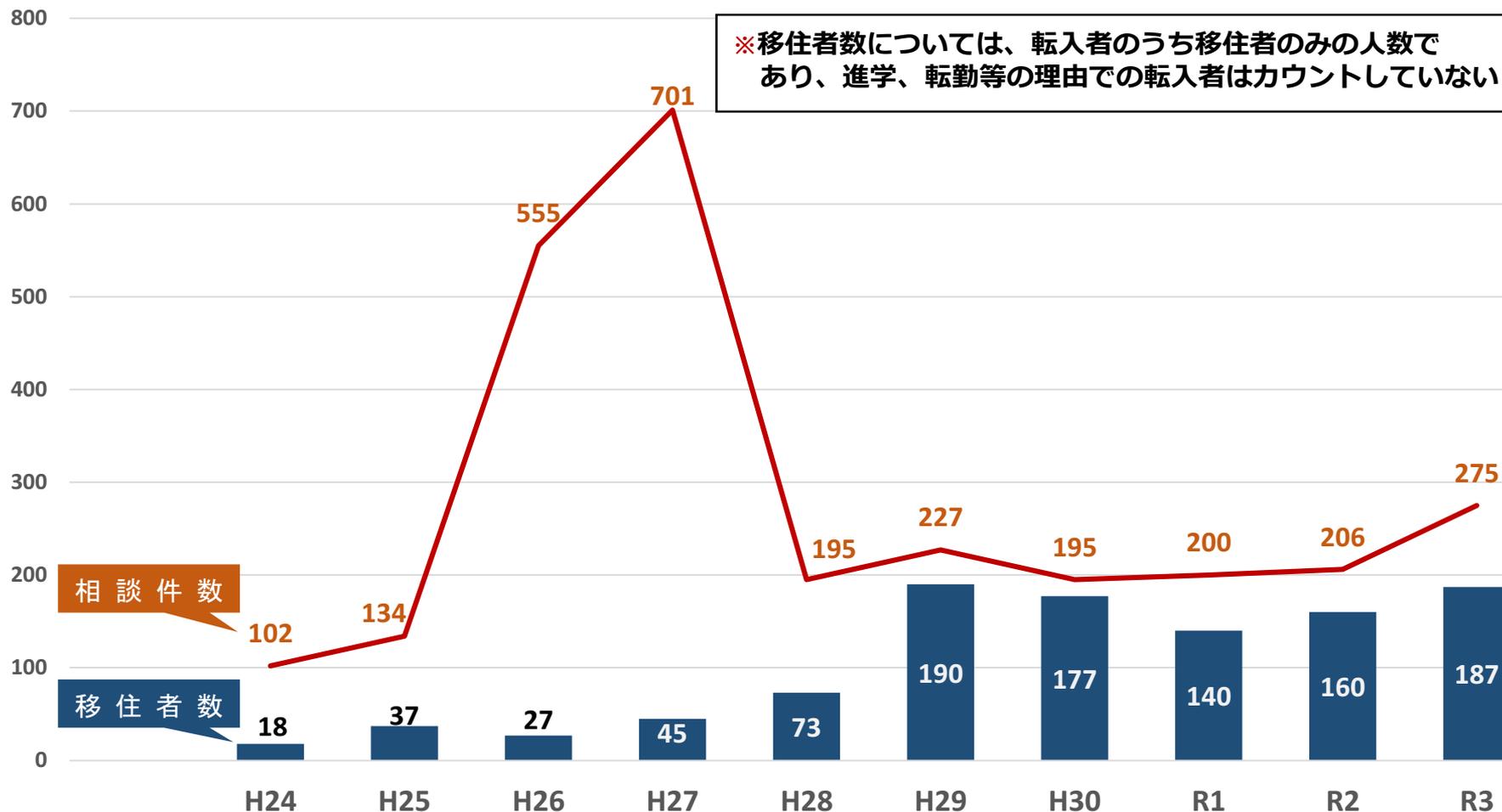
[出典] 転入・転出者数
H23～24 = 住基システム、H25以降 = 住基年報（暦年）
※1 住基年報はH24まで年度集計のためシステムから集計
※2 H23は外国人登録を除く

▶ 移住施策の実施や地域おこし協力隊制度の活用等により、移住者数は**増加傾向**

👉 本町の移住状況 ※R4.04.01現在

■ 移住者数 〓 相談件数

※移住者数については、転入者のうち移住者のみの人数であり、進学、転勤等の理由での転入者はカウントしていない



3. 人材育成 …町の将来を担う人材を育成するための施策

本町の課題

人口減少による人材不足
地域の衰退化



課題解決の方法

人材育成によるまちづくり

●具体的な施策「人材育成のための3つの塾の開設」

未来塾

町の未来を元気にする人材育成

基本的な方向：地域を知り、地域に対する愛着と誇りをはぐくむ

四万十塾

地域を元気にする人材育成

基本的な方向：地域の魅力を生かし、地域を支え発展させる人材を育てる

産業振興塾

産業を元気にする人材育成

基本的な方向：地域資源を生かし、産業を支え発展させる人材を育てる

3 課題解決のための施策

町営塾「じゅうく。」の運営

事業概要

生徒一人ひとりの希望進路の実現を応援するため、放課後の学び場を設定し、意志を持って主体的に行動できる生徒をはぐくむ町営塾を開設しています。（町内中学・高校生の学力向上支援）

塾の登録状況 ※令和4年12月現在（9月以降に就職や進路の決まった3年生が徐々に退塾するため年度当初より少ない）

【高 校】・くぼかわ教室 **47名**/窪川高校在校生 **76名**（登録率**61.8%**）

・しまんと教室 **29名**/四万十高校在校生 **60名**（登録率**48.3%**）

【中 学】・くぼかわ教室 **37名**/窪川中学校3年生 **70名**（登録率**52.8%**）

・たいしょう教室 **8名**/大正中学校3年生 **18名**（登録率**44.4%**）

・とおかわ教室 **3名**/十川中学校3年生 **7名**（登録率**42.8%**）

※別に西土佐中学校から1名通塾

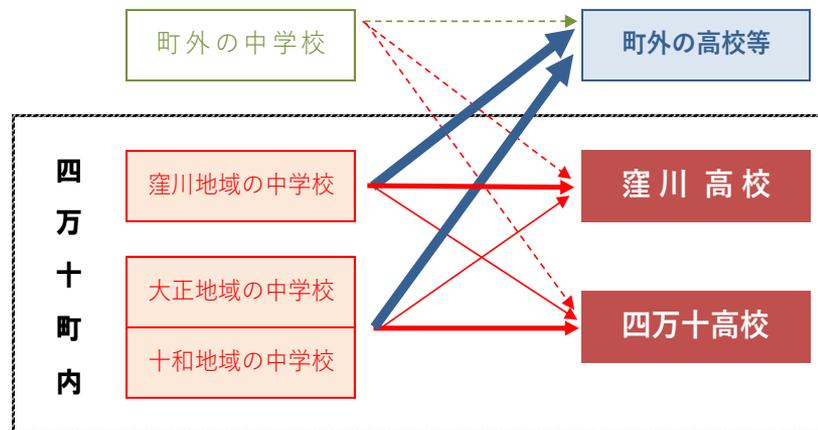
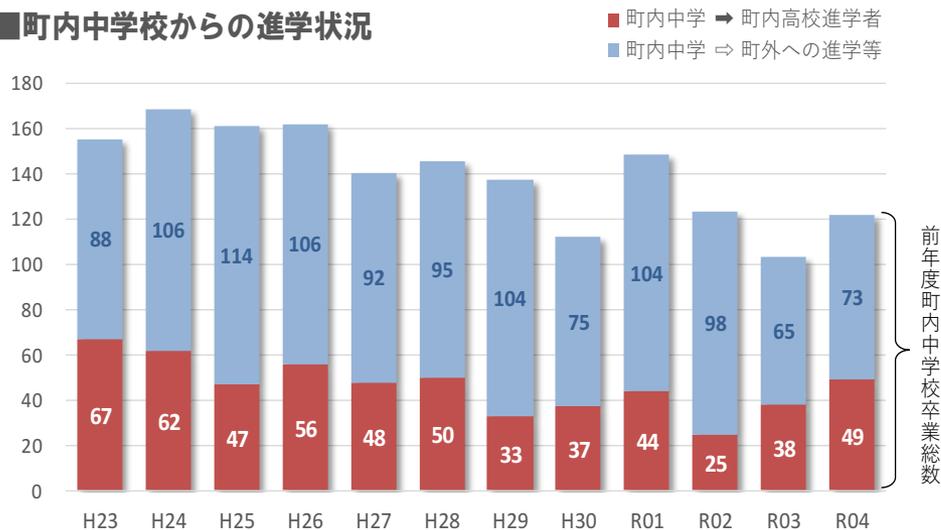


「じゅうく。」の主な成果

- ・ 中学部の通塾生の内、町内高校に進学した生徒が**半数**（令和3年度通塾者**28名**→町内高校進学者**14名**）
- ・ 町内高校への入学者が**倍増**（令和2年度**33名**⇒令和4年度**62名**）
- ・ 町内中学から町内高校への進学者率も**倍増**
（令和2年度**25**／**123名**【町内中学からの進学率**20.3%**】⇒令和4年度**49**／**122名**【町内中学からの進学率**40.2%**】）
- ・ 高校との連携により、県内国公立大学への合格者を**毎年輩出**

③ 課題解決のための施策

町内中学校からの進学状況



単位：人・%

地域別	進路別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
窪川 <small>(窪川中) ※休校中の興津中 含む</small>	前年度域内中学卒業生数計	102	121	118	112	96	101	101	79	99	89	73	96
	町内高校への進学者数						37	22	20	23	12	25	32
	町内高校進学率						36.6%	21.8%	25.3%	23.2%	13.5%	34.2%	33.3%
	その他(町外への進学者等)						64	79	59	76	77	48	64
大正・十和 <small>(大正中・十川中) ※休校中の北ノ川 中・昭和中含む</small>	前年度域内中学卒業生数計	53	47	43	50	44	44	36	33	49	34	30	26
	町内高校への進学者数						13	11	17	21	13	13	17
	町内高校進学率						29.5%	30.6%	51.5%	42.9%	38.2%	43.3%	65.4%
	その他(町外への進学者等)						31	25	16	28	21	17	9
計	前年度域内中学卒業生数計	155	168	161	162	140	145	137	112	148	123	103	122
	町内高校への進学者数	67	62	47	56	48	50	33	37	44	25	38	49
	町内高校進学率	43.2%	36.9%	29.2%	34.6%	34.3%	34.5%	24.1%	33.0%	29.7%	20.3%	36.9%	40.2%
	その他(町外への進学者等)	88	106	114	106	92	95	104	75	104	98	65	73

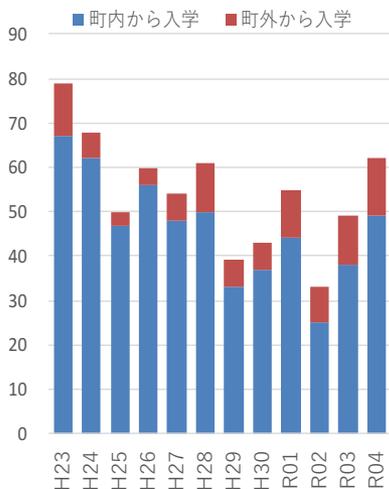
③ 課題解決のための施策

■町内高校の入学状況

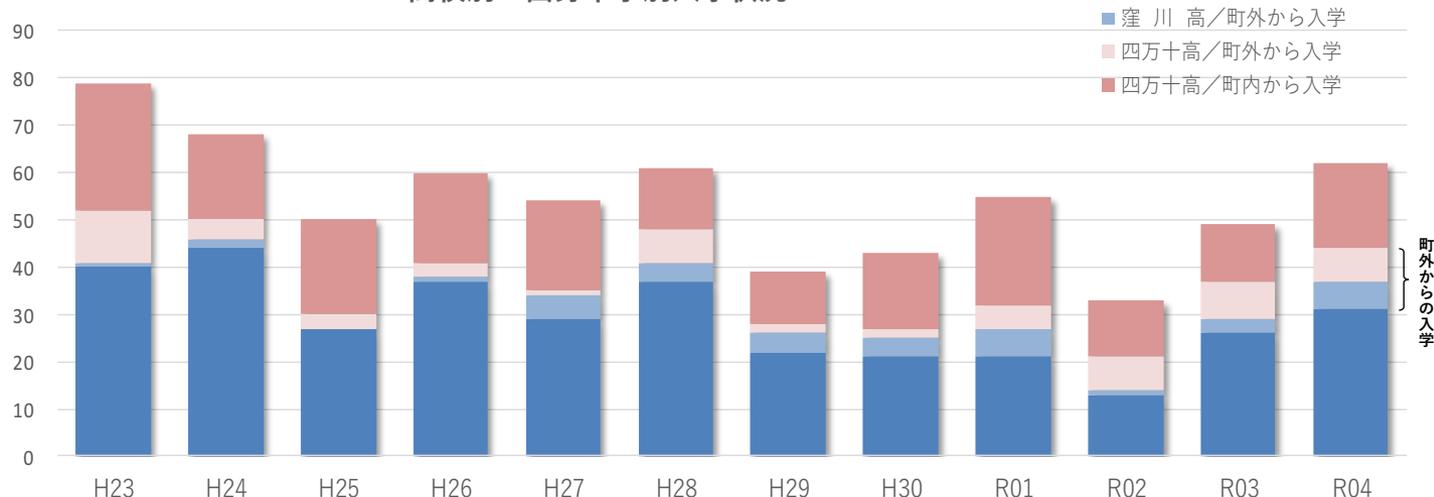
単位：人・%

高校別	入学総数 / 出身中	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
窪川高校	入学者総数	41	46	27	38	34	41	26	25	27	14	29	37
	町内からの入学数	40	44	27	37	29	37	22	21	21	13	26	31
	構成比	97.6%	95.7%	100.0%	97.4%	85.3%	90.2%	84.6%	84.0%	77.8%	92.9%	89.7%	83.8%
	町外からの入学数	1	2	0	1	5	4	4	4	6	1	3	6
四万十高校	入学者総数	38	22	23	22	20	20	13	18	28	19	20	25
	町内からの入学数	27	18	20	19	19	13	11	16	23	12	12	18
	構成比	71.1%	81.8%	87.0%	86.4%	95.0%	65.0%	84.6%	88.9%	82.1%	63.2%	60.0%	72.0%
	町外からの入学数	11	4	3	3	1	7	2	2	5	7	8	7
計	入学者総数	79	68	50	60	54	61	39	43	55	33	49	62
	町内からの入学数	67	62	47	56	48	50	33	37	44	25	38	49
	構成比	84.8%	91.2%	94.0%	93.3%	88.9%	82.0%	84.6%	86.0%	80.0%	75.8%	77.6%	79.0%
	町外からの入学数	12	6	3	4	6	11	6	6	11	8	11	13

出身中学別入学状況（町全体）



高校別・出身中学別入学状況



文化的施設整備推進事業 「まちづくり・生涯学習の拠点づくり」のための施策

図書館・美術館の現状と課題 → 多くの課題を抱え、公共施設として不十分な状況

- ▶ 用途に適した仕様になっていない、公共施設としてのユニバーサルデザインに欠けている、美術作品の適切な管理が困難な状況、本を読んだり学習する場所が少ない … など

上記のような課題を解決するためには、施設の改善が必要

「文化的施設」の整備

図書館・美術館機能を持つ単なる社会教育施設ではなく、コミュニティ機能や人材育成、更には町民の課題解決など『まちづくり・生涯学習の拠点』となる複合型の施設として整備。

施設の4つの機能

- 【1】 図書館機能
- 【2】 美術館機能
- 【3】 展示機能
- 【4】 コミュニティ機能



4つの機能が複合的に集約された施設

それぞれの機能が有機的に連携することで、これまでにない活動スタイルや世代間の交流が生まれる

これまでの経過及び今後の予定（簡易版）

R05.01.31現在

12月補正予算

平成29～令和2年度

令和3年度

令和4年度

令和5～6年度

▼文化的施設検討委員会を設置

▼基本構想を策定



▼基本計画を策定



▼基本設計の完了



▶基本設計とは…実施設計のための方向性や大まかな仕様を決める設計図書のこと

▼令和3年議会9月定例会において令和3年度以降の整備等に要する

「予算」を議決

▼サービス計画を策定



▼実施設計の完了



▶実施設計とは…基本設計を踏まえ、施設の建設に必要な図面や構造・工法・数量等を定めた建物の最終的な設計図書のこと

▼施設開館（予定）

資材単価の高騰等に伴う建築工事費等の増額

▶令和3年議会9月定例会において、令和3年度以降の整備等に要する「予算」を議決

- ① 建築工事費や引越費用といった開館までに必要な予算を「継続費」として議決
- ② 基本設計を踏まえた「実施設計」「用地購入費」等に関する歳出予算を議決

令和5年度「新規・拡充」施策一覧 ※令和5年度当初予算（令和5年3月議会定例会）提案予定

妊娠・出産



見直し

出産祝金

【変更後】 新生児1人につき10万円を支給 ※令和5年度に限り第3子以降は30万円とする経過措置あり

【変更前】 第1子および第2子は5万円、第3子以降は30万円を支給

新規

四万十の木ふれあい木育推進事業

… 町内で生まれたあかちゃんを対象に、木のぬくもりを感じてもらうためのおもちゃをプレゼント

子育て



拡充

乳幼児・児童医療費助成事業

… 医療費の自己負担分に対する助成について、対象年齢を15歳から18歳に拡大

教育



新規

給食費の無償化 … 小中学校の給食費を無償化

新規

副教材購入支援 … 小中学校の副教材費について購入費用を町が負担

定住



拡充

空き家活用促進補助金 … 空き家のリフォーム費用について、町の補助上限額を増額

新規

子育て支援住宅の整備 … 子育て世帯が安価な家賃で入居可能な住宅を整備

新規

子育て世帯住宅取得補助金 … 子育て中の世帯が住宅を取得する場合に補助金を交付

新規

太陽光発電設備等設置補助金 … 太陽光発電設備及び蓄電池を設置する場合に補助金を交付

ライフステージ別施策一覧（町独自の支援 又は 国・県の取組等への継足し分）

妊娠・出産



- ▶ 不妊治療費助成
- ▶ 妊婦健診通院費助成
- ▶ 妊婦一般健康診査費助成
- ▶ 妊婦歯科健康診査費助成
- ▶ ハローベビー・スクール（パパママ教室）の開催
- ▶ 妊婦訪問
- ▶ **出産祝金（給付額の見直し）**
- ▶ 産婦健康診査の実施
- ▶ 産後ケア（相談・指導）
- ▶ **四万十の木ふれあい木育推進（木のおもちゃ贈呈）**

子育て



- ▶ 新生児聴覚検査費助成
- ▶ 乳児家庭全戸訪問
- ▶ 乳幼児健康診査の実施
- ▶ 子どもの発達相談
- ▶ 育児相談
- ▶ 子育て家庭ショートステイ
- ▶ 養育支援訪問
- ▶ 子育て支援センターの設置
- ▶ 保育料軽減（3歳以上又は多子世帯）
- ▶ ファミリーサポートセンターの設置
- ▶ **乳幼児・児童医療費助成（18歳まで対象拡大）**
- ▶ ひとり親家庭医療費助成
- ▶ 子育て世代包括支援センターの設置

教育



- ▶ 教育研究所の設置（教育相談、スクールソーシャルワーカーの配置など）
- ▶ 不登校児童等への支援（教育支援センターの設置など）
- ▶ 地域学校協働本部の設置
- ▶ 放課後子ども教室・放課後児童クラブの開設
- ▶ ICT教育の推進
- ▶ わんぱく学校の開催
- ▶ 子ども読書活動の推進
- ▶ **給食費の無償化（小・中）**
- ▶ **副教材購入費支援**
- ▶ 通学バス運行
- ▶ 遠距離通学助成
- ▶ 通学用ヘルメット購入助成
- ▶ 特別支援教育支援員の配置
- ▶ 就学援助制度（学用品・修学旅行費等）
- ▶ 生涯学習参加費等助成（スポーツ大会参加等）
- ▶ 中学校クラブ活動等助成

定住



- ▶ 移住支援金（子育て加算）
- ▶ 中間管理住宅の整備
- ▶ 移住支援住宅の設置
- ▶ **子育て支援住宅の整備**
- ▶ **子育て世帯住宅取得補助金**
- ▶ 若者定住促進支援助成
- ▶ 家族支え合い居住支援助成
- ▶ 町産材利用促進補助金
- ▶ **太陽光発電設備等設置補助金**
- ▶ 合併処理浄化槽設置補助金
- ▶ **空き家活用促進補助金（拡充）**
- ▶ 住宅耐震診断・改修補助金
- ▶ 高校魅力化支援
 - ・町営塾「じゅうく。」の開設
 - ・地元高校入学祝金
 - ・ICTコーディネーターの配置
 - ・高等学校通学費助成
 - ・高校給食サービスの実施…など
- ▶ 奨学金の貸付
- ▶ 奨学金等返還支援助成



- ▶ 文化的施設の整備（交流・子育て助けあい・学びあいの場 など）
- ▶ 移動図書館車の運行

— 参 考 資 料 —

四万十町基礎データ集

【Ⅰ】 将来的な人口推計
(一般財団法人地域活性化センター)

※人口推計の手法については、

「**コーホート変化率法**」を用いている。

「コーホート変化率法」とは？

…過去における実績人口の動勢から変化率を求め、
それに基づき将来人口を推計する方法

【Ⅱ】 各小学校区別データ

【Ⅲ】 移動事由別人口推移

【Ⅳ】 産業

【Ⅴ】 住宅の建築状況

【Ⅵ】 ふるさと納税

【Ⅶ】 町民の意識データ

【Ⅷ】 本町の魅力発信

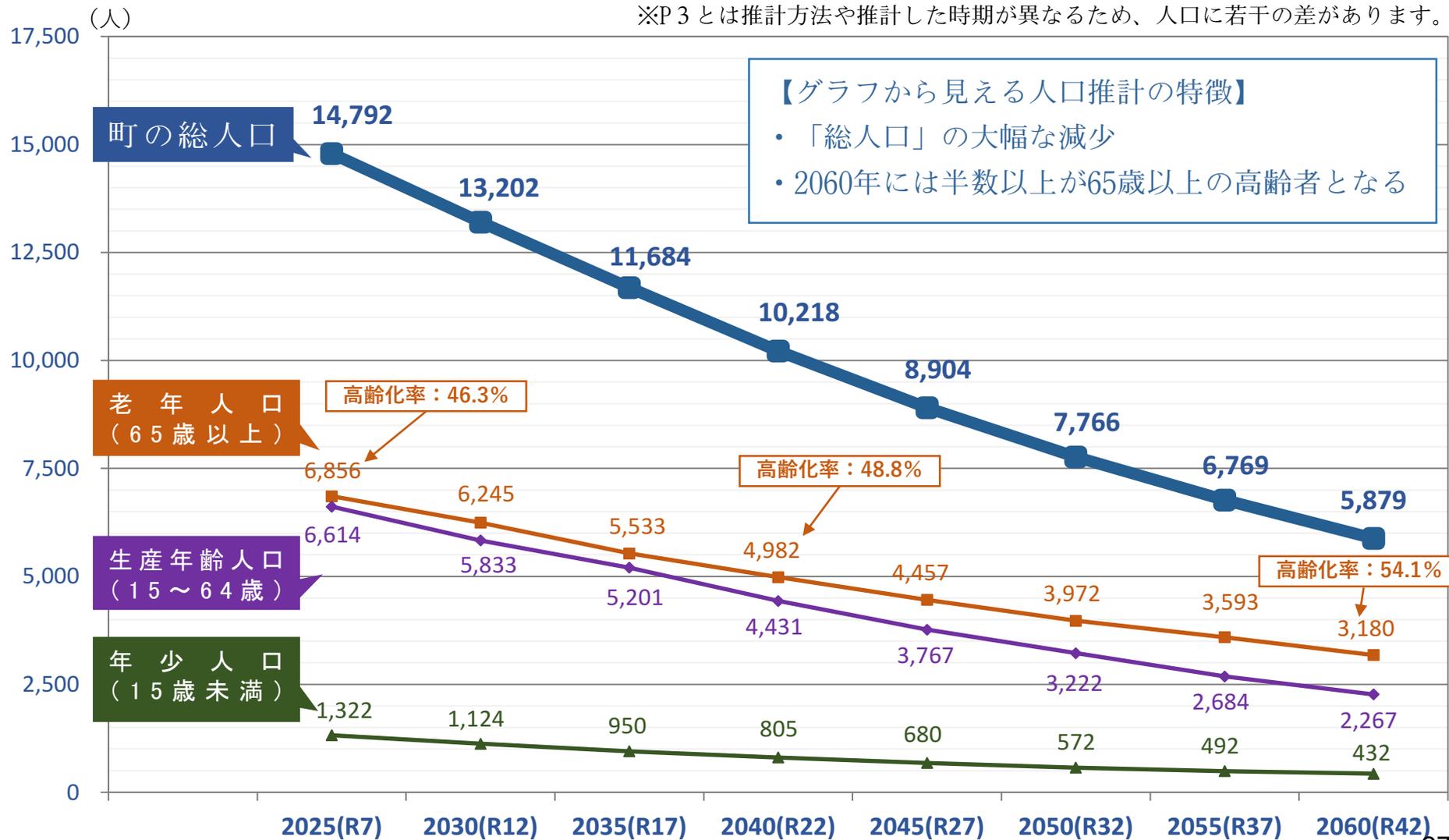
【Ⅸ】 町外からみた本町の魅力

【 I 】 将来的な人口推計

1. 四万十町全体

[出典] 四万十町における小規模地域人口推計（一般財団法人地域活性化センター）

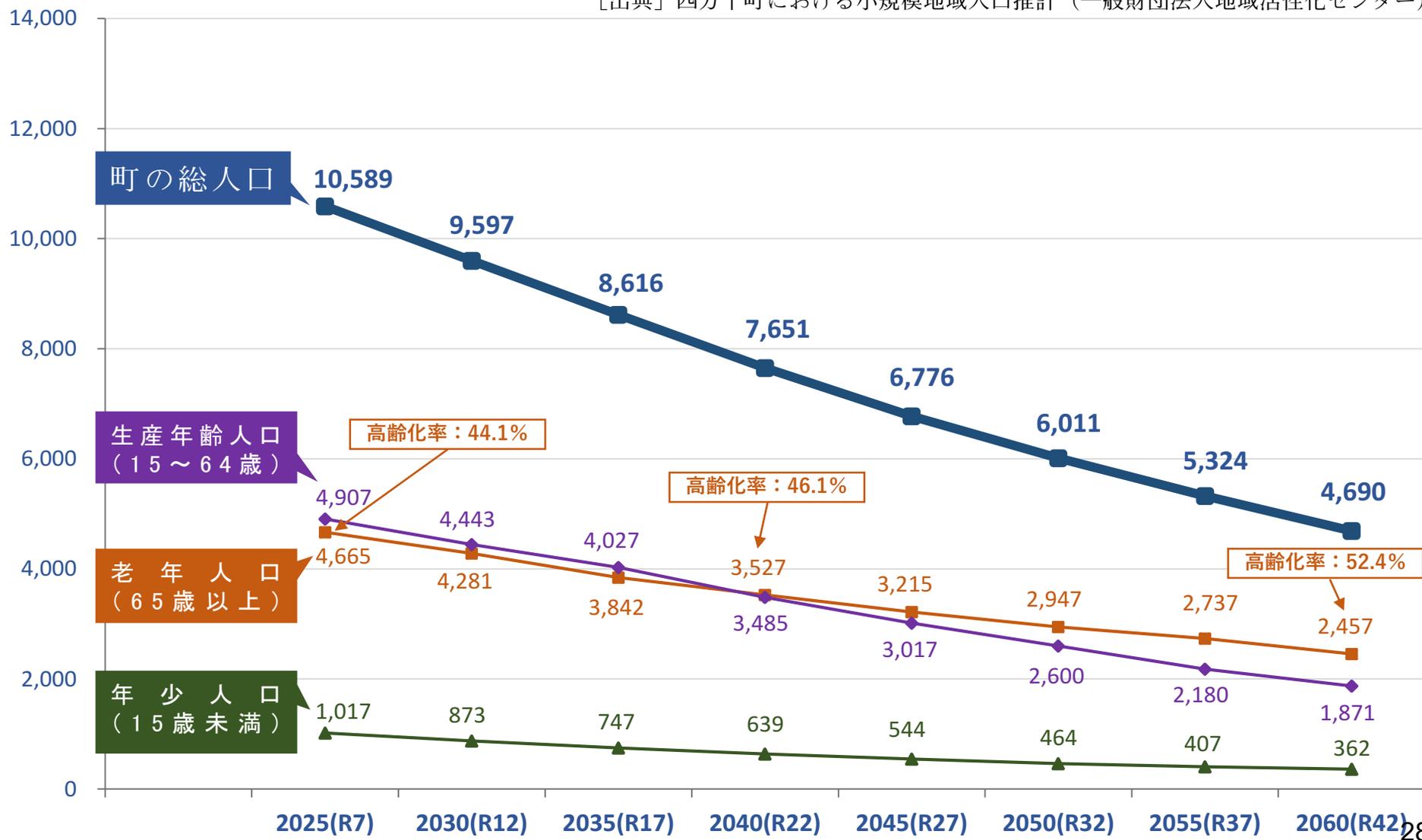
※P3とは推計方法や推計した時期が異なるため、人口に若干の差があります。



【 I 】 将来的な人口推計

2. 窪川地域

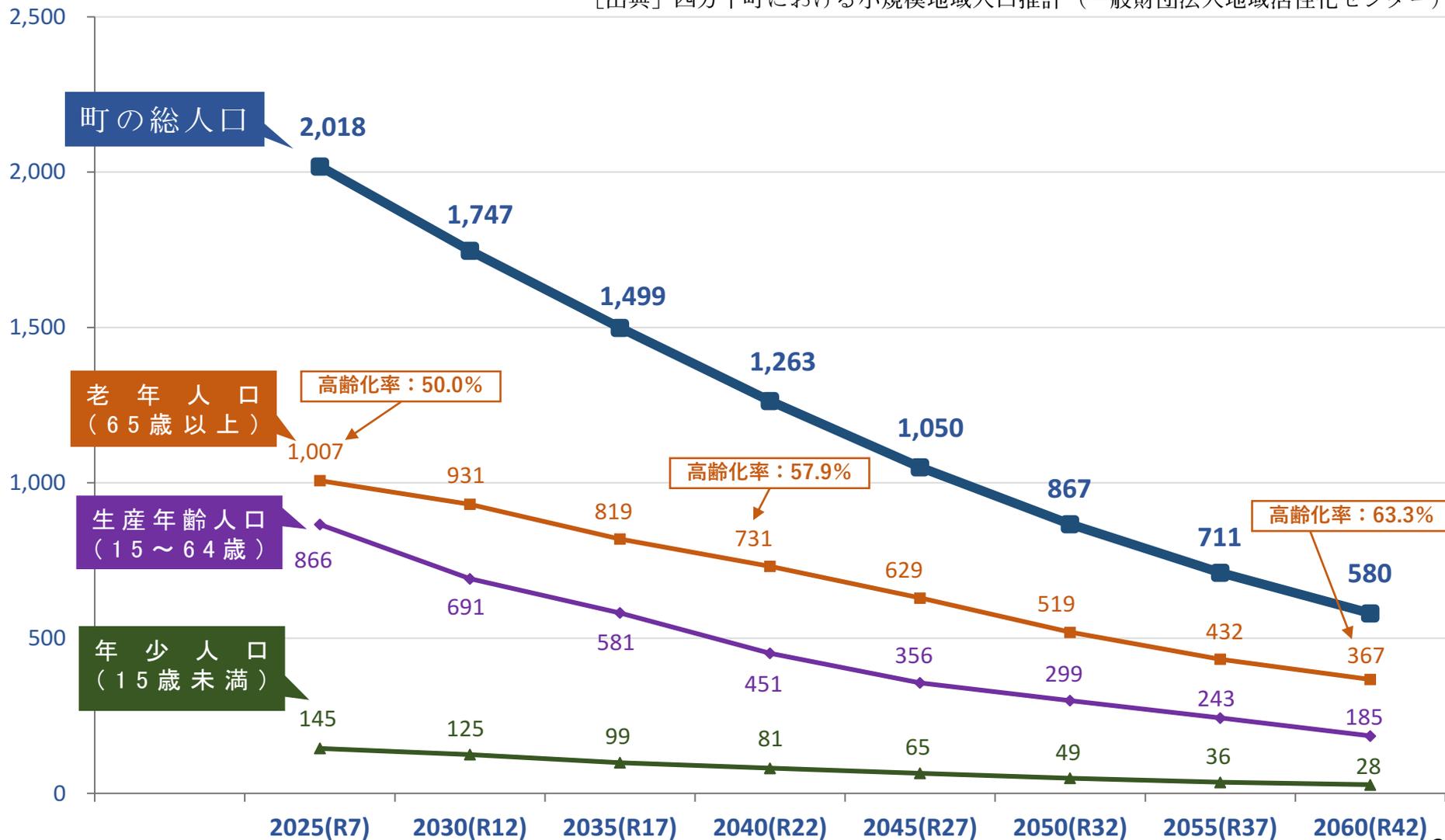
[出典] 四万十町における小規模地域人口推計（一般財団法人地域活性化センター）



【 I 】 将来的な人口推計

3. 大正地域

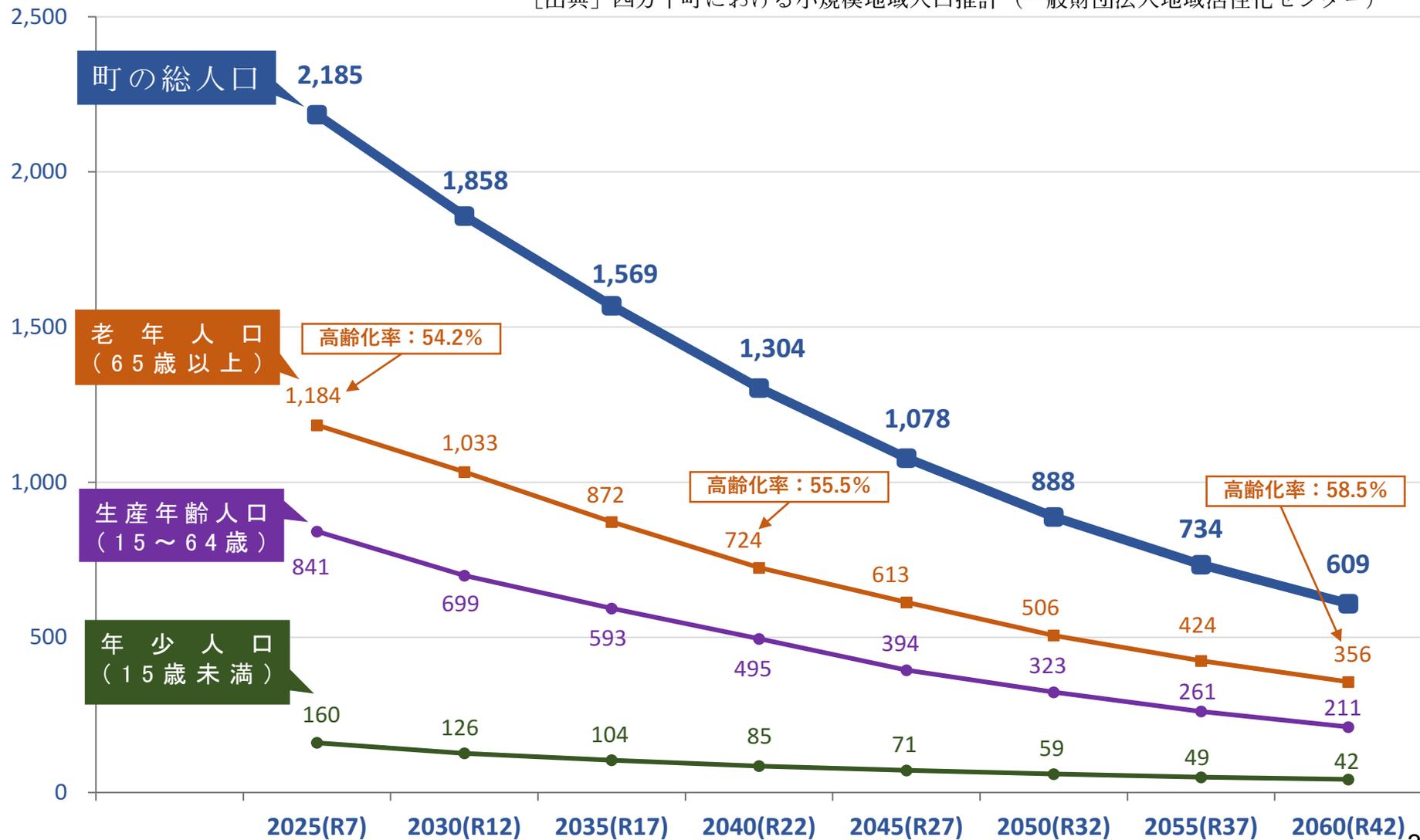
[出典] 四万十町における小規模地域人口推計（一般財団法人地域活性化センター）



【 I 】 将来的な人口推計

4. 十和地域

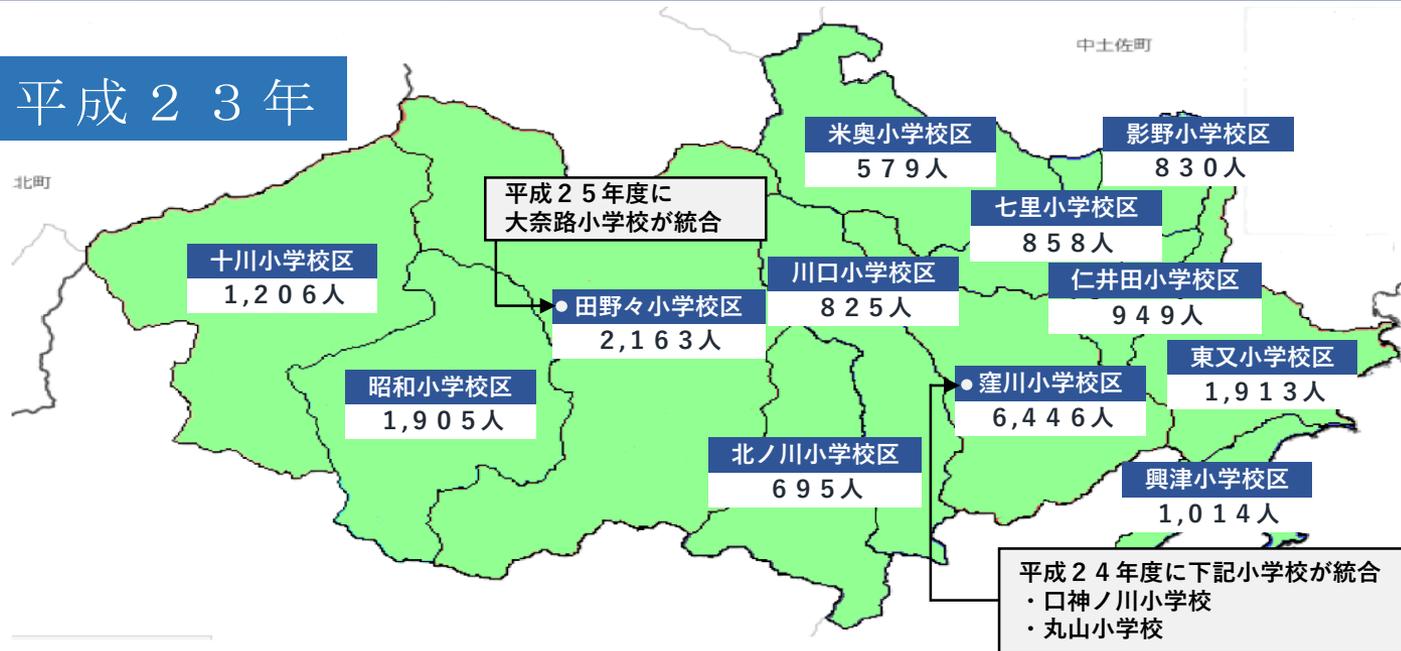
[出典] 四万十町における小規模地域人口推計（一般財団法人地域活性化センター）



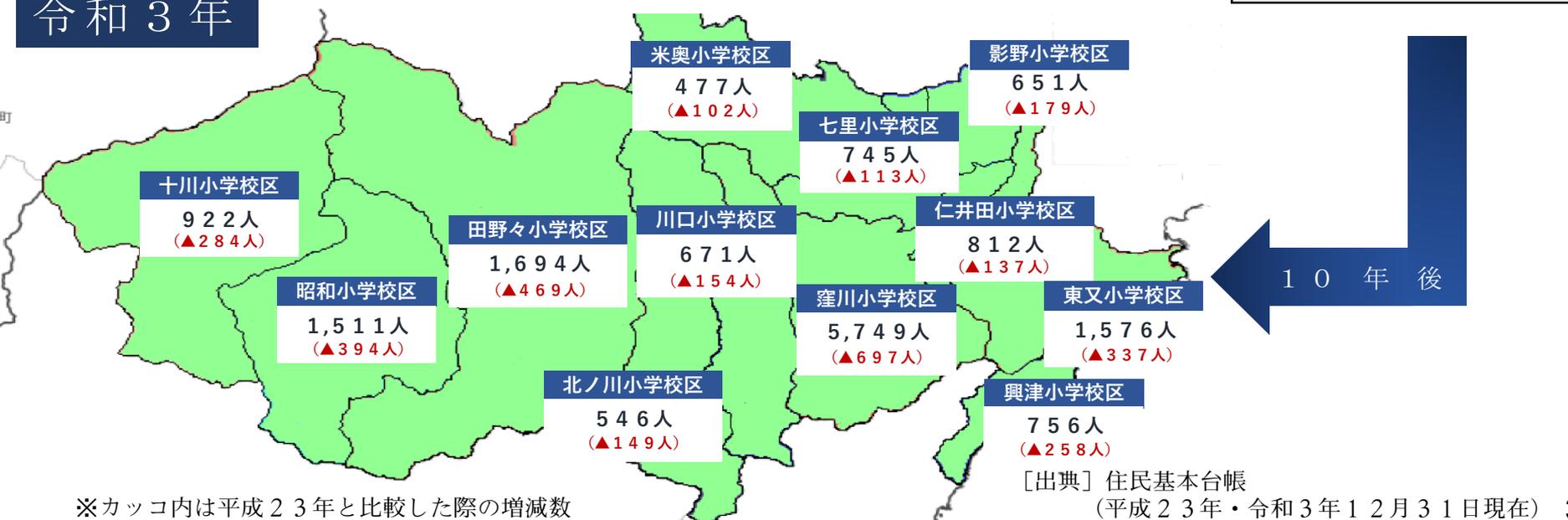
【Ⅱ】各小学校区別データ

各地域の人口

平成23年



令和3年



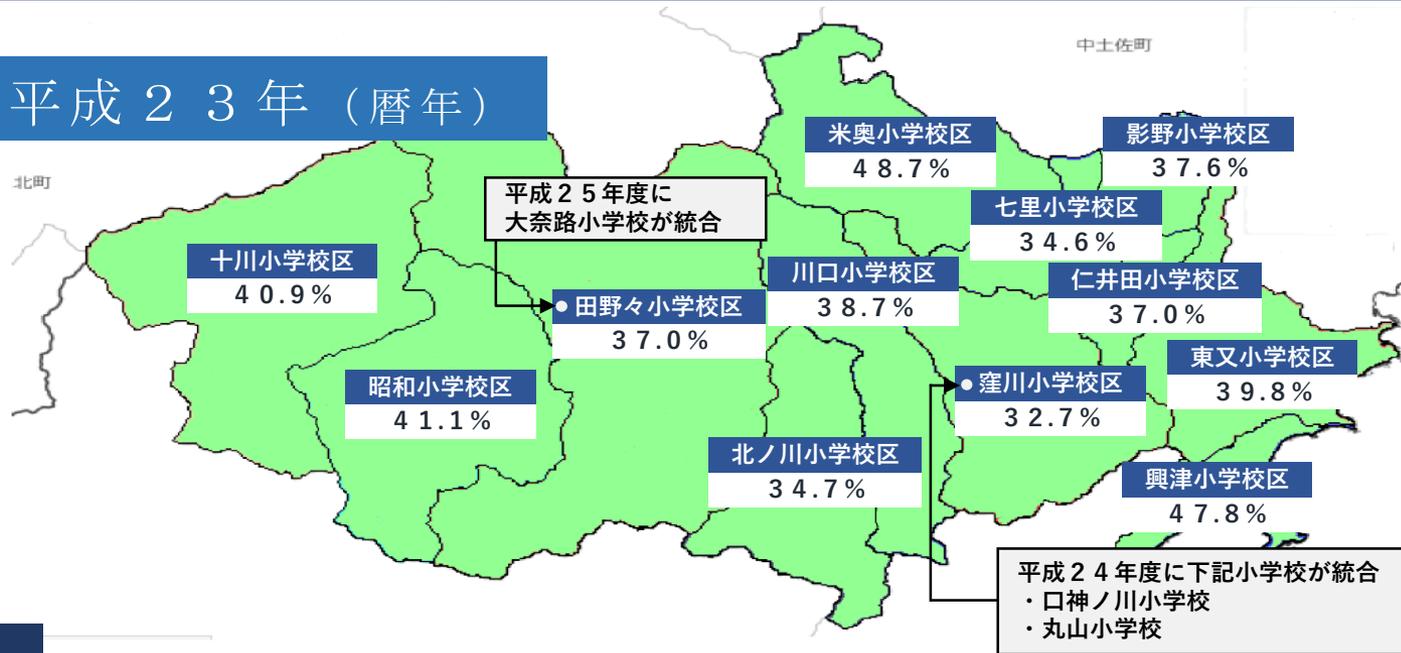
※カッコ内は平成23年と比較した際の増減数

【出典】住民基本台帳

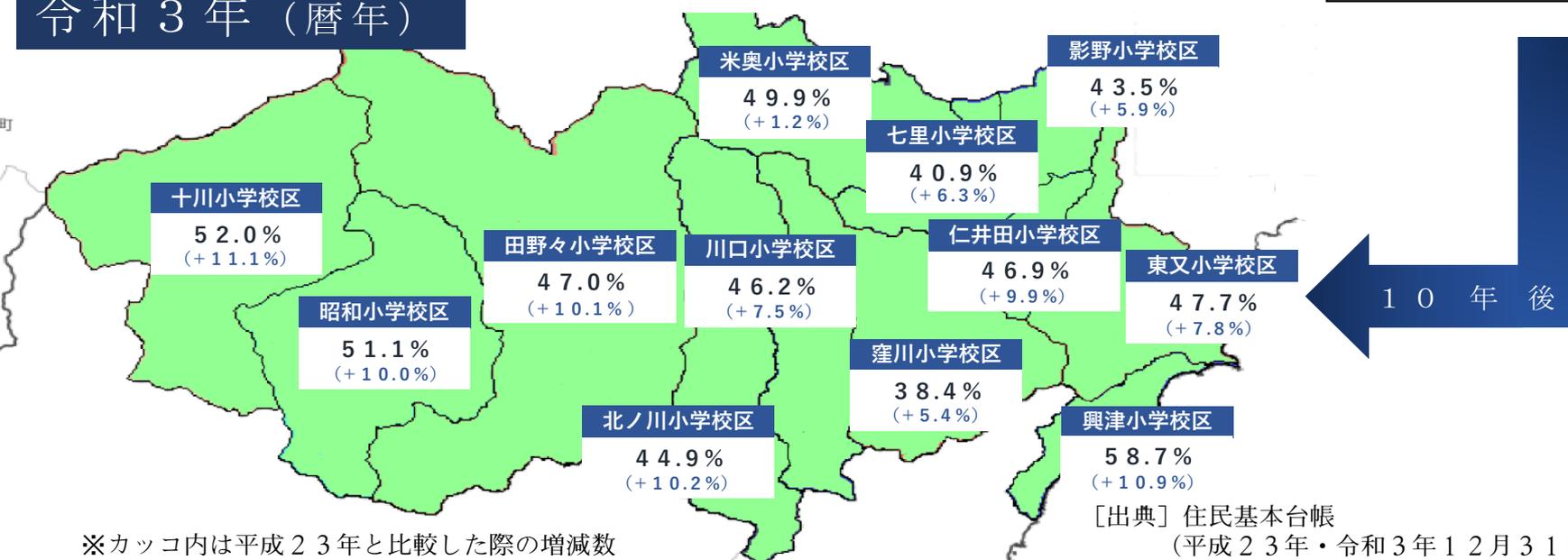
【Ⅱ】各小学校学区別データ

各地域の
高齢化率

平成23年（暦年）



令和3年（暦年）



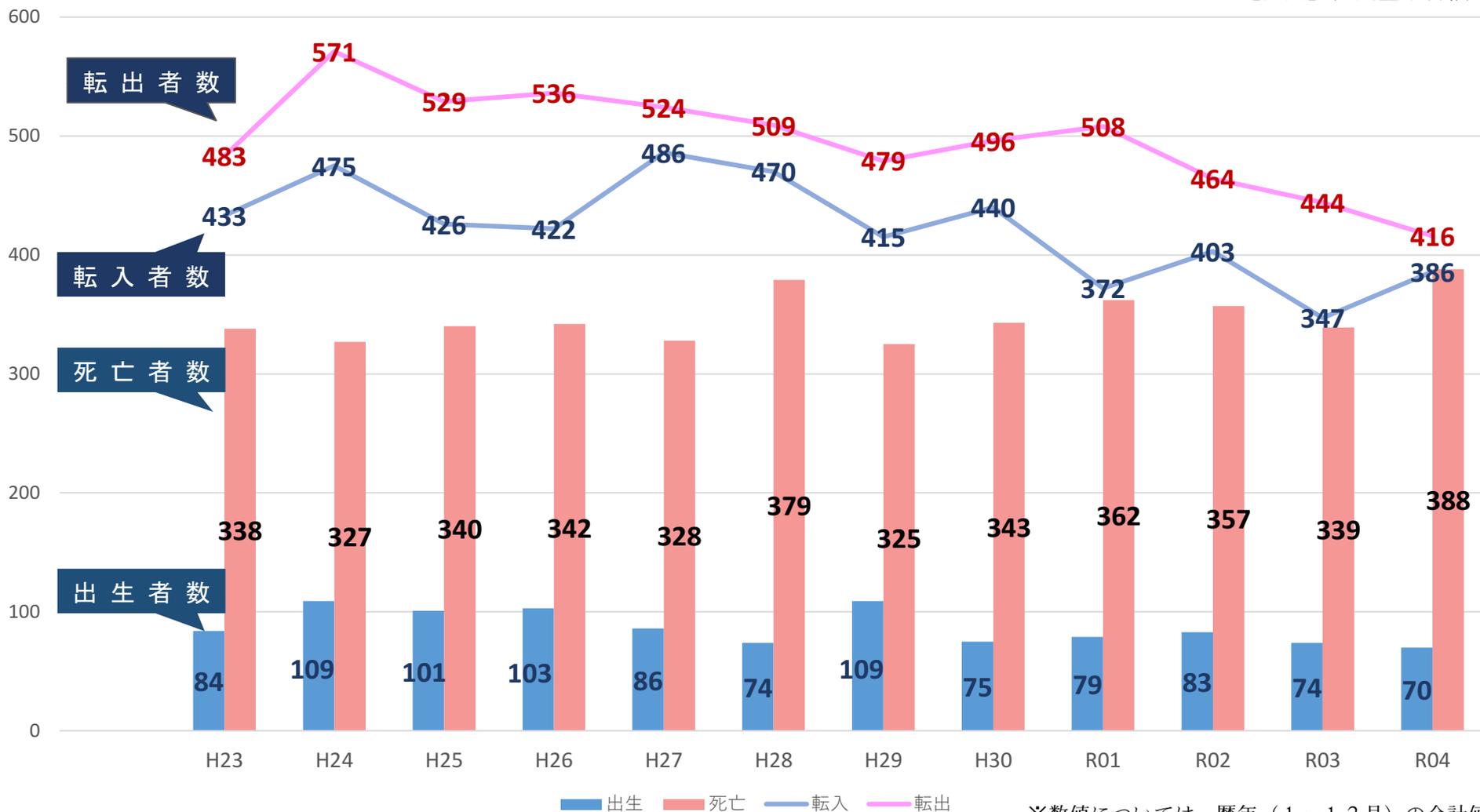
※カッコ内は平成23年と比較した際の増減数

【出典】住民基本台帳
(平成23年・令和3年12月31日現在)

【Ⅲ】異動事由別人口推移

【四万十町】H23～R04（暦年）「年別・異動事由別」人口推移

[出典] 住民基本台帳



※数値については、暦年（1～12月）の合計値

【Ⅲ】異動事由別人口推移

【四万十町】2～5月「月別・異動事由別」人口推移

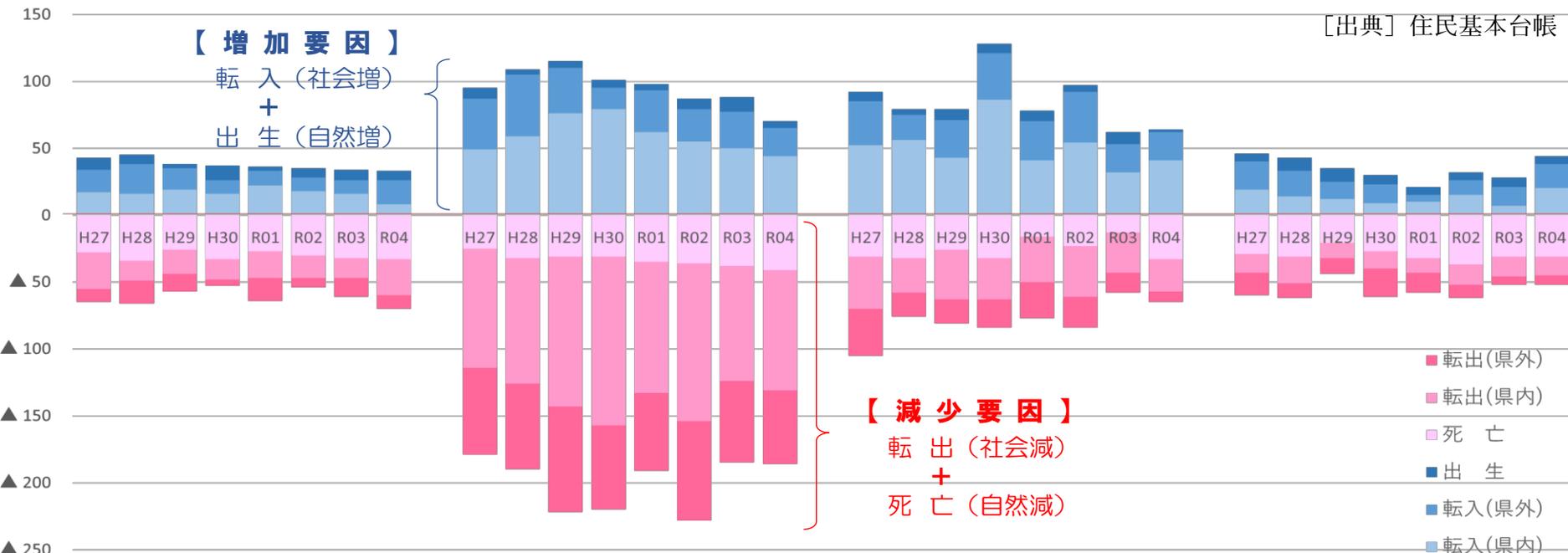
[出典] 住民基本台帳

【増加要因】

転入(社会増)
+
出生(自然増)

【減少要因】

転出(社会減)
+
死亡(自然減)



移動事由	2月								3月								4月								5月							
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
転入(県内)	17	16	19	16	22	18	16	8	49	59	76	79	62	55	50	44	52	56	43	86	41	54	32	41	19	14	12	9	10	15	7	20
転入(県外)	17	22	16	10	11	10	10	18	38	46	34	16	31	24	27	21	33	19	28	35	29	38	21	21	21	19	13	14	5	11	14	18
出生	9	7	3	11	3	7	8	7	8	4	5	6	5	8	11	5	7	4	8	7	8	5	9	2	6	10	10	7	6	6	7	6
死亡	▲28	▲34	▲26	▲33	▲27	▲30	▲32	▲33	▲25	▲32	▲31	▲31	▲35	▲36	▲38	▲41	▲31	▲32	▲26	▲32	▲16	▲23	▲13	▲33	▲29	▲31	▲21	▲27	▲32	▲37	▲31	▲31
転出(県内)	▲27	▲15	▲18	▲15	▲20	▲17	▲15	▲27	▲89	▲94	▲112	▲126	▲98	▲118	▲86	▲90	▲39	▲26	▲37	▲31	▲34	▲38	▲30	▲24	▲14	▲20	▲11	▲13	▲11	▲15	▲15	▲14
転出(県外)	▲10	▲17	▲13	▲5	▲17	▲7	▲14	▲10	▲65	▲64	▲79	▲63	▲58	▲74	▲61	▲55	▲35	▲18	▲18	▲21	▲27	▲23	▲15	▲8	▲17	▲11	▲12	▲21	▲15	▲10	▲6	▲7
その他増減	0	1	0	▲5	0	0	▲2	▲1	1	0	2	▲1	0	0	▲1	0	0	0	1	2	0	8	1	1	0	▲1	2	2	0	2	0	▲1
対前月未増減	▲22	▲20	▲19	▲21	▲28	▲19	▲29	▲38	▲83	▲81	▲105	▲120	▲93	▲141	▲98	▲116	▲13	3	▲1	46	1	21	5	0	▲14	▲20	▲7	▲29	▲37	▲28	▲24	▲9

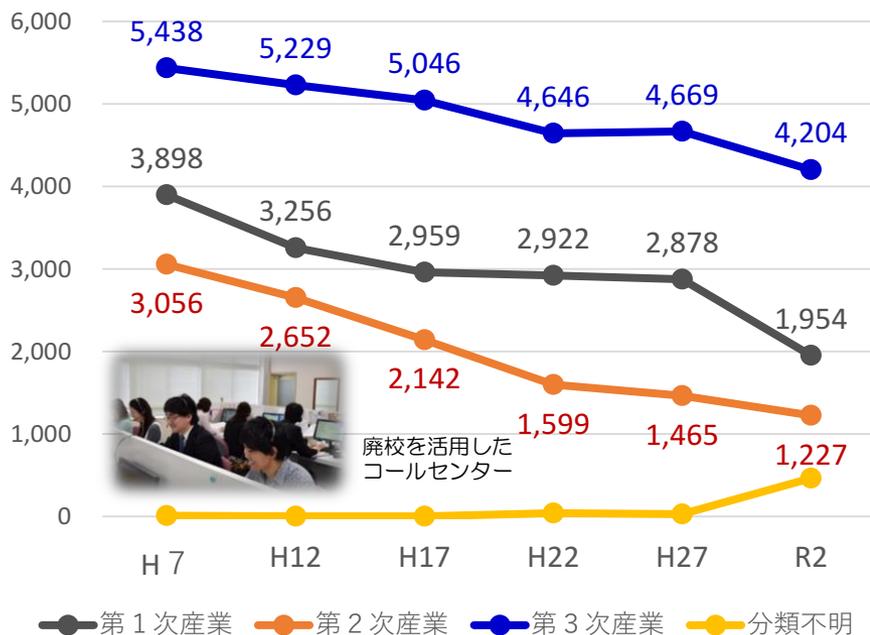
【IV】 産業

産業別就業者数の推移

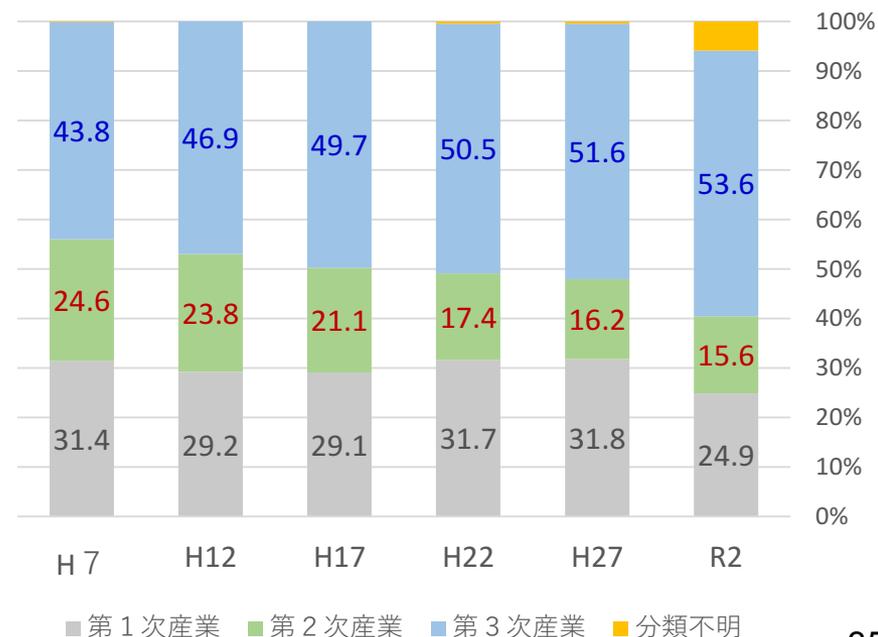
[出典] 国勢調査

	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不明	就業者数合計	総人口	単位：人・%
	農業	林業	水産業	就業者比率						
平成7年	3,898	3,432	304	162	3,056	5,438	10	12,402	23,081	53.7 %
平成12年	3,256	2,849	261	146	2,652	5,229	5	11,142	21,844	51.0 %
平成17年	2,959	2,702	150	107	2,142	5,046	4	10,151	20,527	49.5 %
平成22年	2,922	2,486	350	86	1,599	4,646	40	9,207	18,733	49.1 %
平成27年	2,878	2,276	549	53	1,465	4,669	32	9,044	17,325	52.2 %
令和2年	1,954	1,643	281	30	1,227	4,204	464	7,899	15,607	50.6 %

就業者数の推移



就業者数の構成比



【IV】 産業

単位：事業所・人・百万円

年度	商 業										製 造 業			
	事 業 所 数	従 業 者 数	年間商品 販売額	卸		売		小		売		事 業 所 数	従 業 者 数	製 造 品 出荷額等
				事 業 所 数	従 業 者 数	年間商品 販売額	事 業 所 数	従 業 者 数	年間商品 販売額					
H18	-	-	22,114	-	-	4,165	-	-	17,949	45	653	6,846		
H19	392	1,470	-	37	163	-	355	1,307	-	44	600	7,469		
H20										50	674	8,017		
H21										42	564	7,048		
H22										38	593	7,614		
H23	277	1,072	15,851	30	132	3,123	247	940	12,728	31	501	8,655		
H24										38	543	6,759		
H25	-	-	16,569	-	-	3,502	-	-	13,067	33	580	7,446		
H26	290	984	-	35	119	-	255	865	-	30	553	7,681		
H27	-	-	17,841	-	-	3,578	-	-	14,263	-	-	8,503		
H28	270	1,093	-	27	120	-	243	973	-	37	511	8,769		
H29										40	617	8,898		
R01										38	580	9,501		
R02										40	633	-		

【出典】 政府統計総合窓口「e-Stat（経済センサス・商業統計調査・工業統計調査・県民経済計算）」

商工業(起業及び販路拡大)・企業誘致に対する支援制度（実績）

単位：万円・カッコ内=件数

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
商 工 業 振 興 事 業 助 成 金	281 (3)	325 (6)	468 (7)	1,046 (11)	429 (4)	759 (8)	856 (8)	807 (7)	1,620 (17)	1,228 (12)	963 (11)	1,418 (31)	1,090 (20)	783 (22)
企 業 立 地 等 促 進 助 成 金											3,643 (6)	3,567 (6)	1,646 (4)	382 (1)
											※ 「企業立地等促進助成金」制度については、平成30年度からスタート⇒			

【V】住宅の建築状況

住宅の建築状況（H27～R03） ※マンション・アパート・共同住宅を除く「専用・併用住宅」の年度別建築数

小学校区名	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	7か年計	年平均
仁井田	3	1	7	1	1	2	3	18	2.6
影野	1	1	2	1		2	1	8	1.1
七里	4				2	1	1	8	1.1
米奥					1		1	2	0.3
窪川	24	8	16	17	16	16	16	113	16.1
川口	2		2		2	2	1	9	1.3
東又	9	5	6	6	5	5	6	42	6.0
興津		2				2		4	0.6
田野々	4	2	4		2	2	5	19	2.7
北ノ川			1		1		2	4	0.6
十川	6	3	1	4	2	2	2	20	2.9
昭和	3	2	3	2	2	2	1	15	2.1
計	56	24	42	31	34	36	39	262	37.4
うち木造	53	24	42	31	34	36	38	258	36.9

【V】住宅の建築状況

建築時における所有者の年代別建築数（H27～R03の7か年計）

※建築時における所有者の
年齢／法人及び町外を除く

小学校区名	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	7か年計
仁井田	2	4	3	3	4	1	1	18
影野		2	3	1	1	1		8
七里		3	3	1			1	8
米奥				1		1		2
窪川	10	34	22	12	18	14	3	113
川口		3	3		3			9
東又	2	19	7	4	6	2	1	41
興津		1	1			1	1	4
田野々		7	3	2	5		2	19
北ノ川	1				2	1		4
十川	1	1	5	4	3	5		19
昭和	1	3	2		3	3	3	15
計	17	77	52	28	45	29	12	260

【V】住宅の建築状況

建築時における世帯員最小年代（H27～R03の7か年計）

※建築時における最年少の世帯構成員（0～18歳に限る）の年齢

小学校区名	0～5歳	6～12歳	13～15歳	16～18歳	7か年計
仁井田	4	1			5
影野	5				5
七里	3	1			4
米奥					0
窪川	3 3	1 0	3	3	4 9
川口	2	1			3
東又	1 6	8	1		2 5
興津					0
田野々	1	1			2
北ノ川	2	3	1		6
十川	4	2			6
昭和	2		1		3
計	72	27	6	3	108

【VI】 ふるさと納税

[出典] 四万十町にぎわい創出課調

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
寄附総額	514万円	628万円	7億8,743万円	12億7,917万円	12億7,087万円	11億1,539万円	9億5,841万円	14億6,695万円	13億6,764万円
件数	48件	155件	42,214件	79,759件	79,751件	80,596件	71,764件	125,204件	118,490件
返礼(特産)品代 決算額	—	—	3億7,662万円	4億6,914万円	4億9,199万円	4億4,849万円	2億9,097万円	4億3,596万円	3億8,810万円
ふるさと支援 基金残高	4,083万円	3,766万円	7億2,996万円	11億7,884万円	16億2,684万円	17億 366万円	18億4,827万円	23億3,275万円	26億7,634万円
< 参考 > 積立基金残高	72億7,376万円	73億8,790万円	85億6,858万円	91億9,448万円	102億 32万円	106億3,489万円	110億4,024万円	119億9,852万円	127億5,529万円

👉 令和3年度ふるさと支援推進事業 計7億 1,939万円

- ・返礼特産品代等 3億8,810万円 … 特産品、感謝祭イベント など
- ・通信運搬費 1億5,009万円 … 返礼品・受領証明書等送料 など
- ・取扱手数料 1億3,597万円 … ポータルサイト利用手数料(5サイト)、カード決済手数料
- ・推進委託料 3,980万円 … 総合戦略マネジメント(WEB広告)、受発注管理 など
- ・臨時賃金(2名分) 372万円 + 正職員3名体制
- ・印刷製本費 152万円 … DMチラシ制作、封筒
- ・普通旅費 19万円 … 感謝祭イベント

【VII】 町民の意識データ

「四万十町の暮らしに関するアンケート」結果

【対象】 四万十町に住民登録のある18歳以上の方から無作為に2,000人抽出

【目的】 急激に進む人口減少や少子高齢化による様々な課題がある中で、町民の皆様の暮らしの現状や現在ある課題を明確にし、今後の町の施策や事務事業に反映させていくことを目的に町民アンケートを実施。

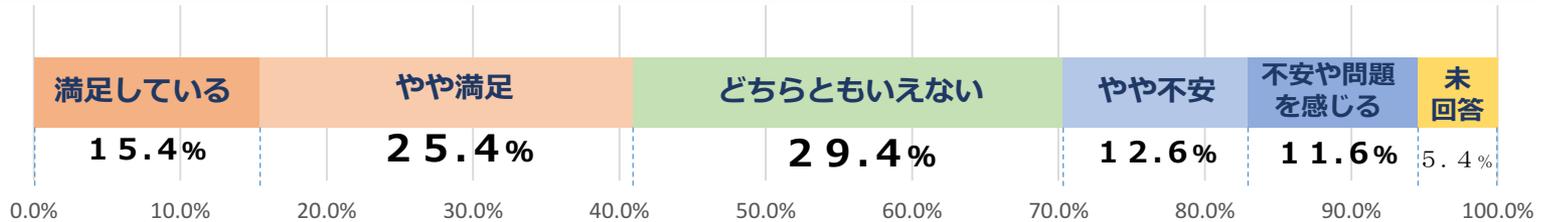
【備考】 ・アンケートについては、令和元年度から2年ごとに実施。
・掲載内容については、令和3年度に実施した結果より抜粋。



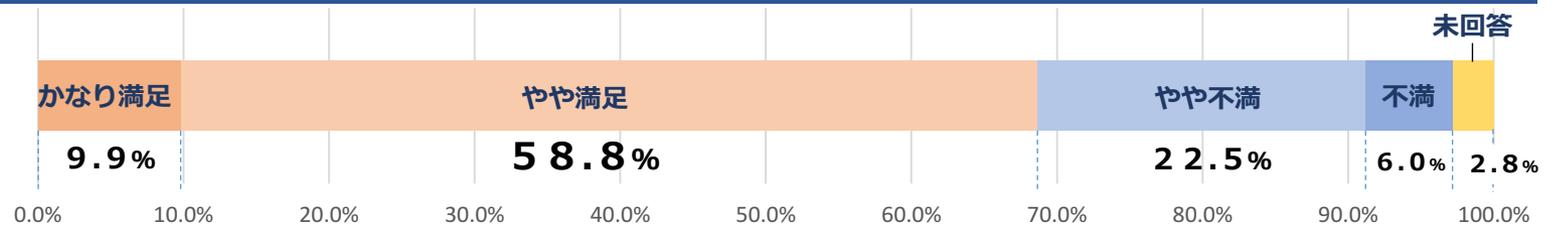
令和3年度に実施したアンケート結果はこちら



① 「住み心地・暮らしやすさ」に関する印象に近いものをお選びください。

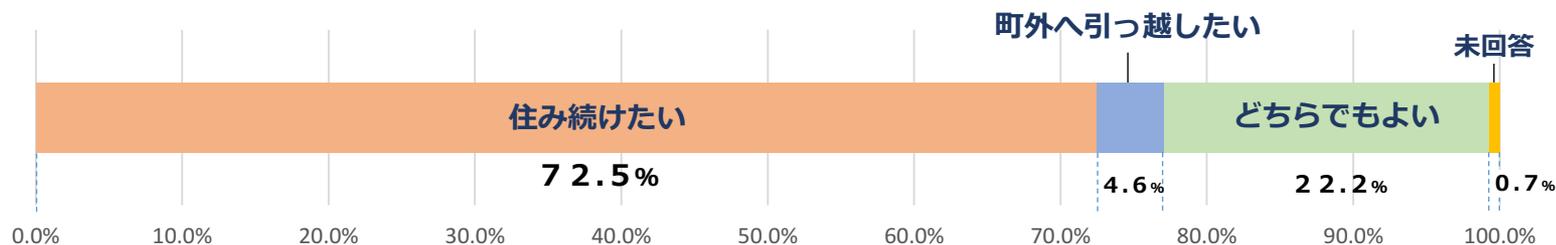


② 現在の暮らしの満足度はいかがですか？

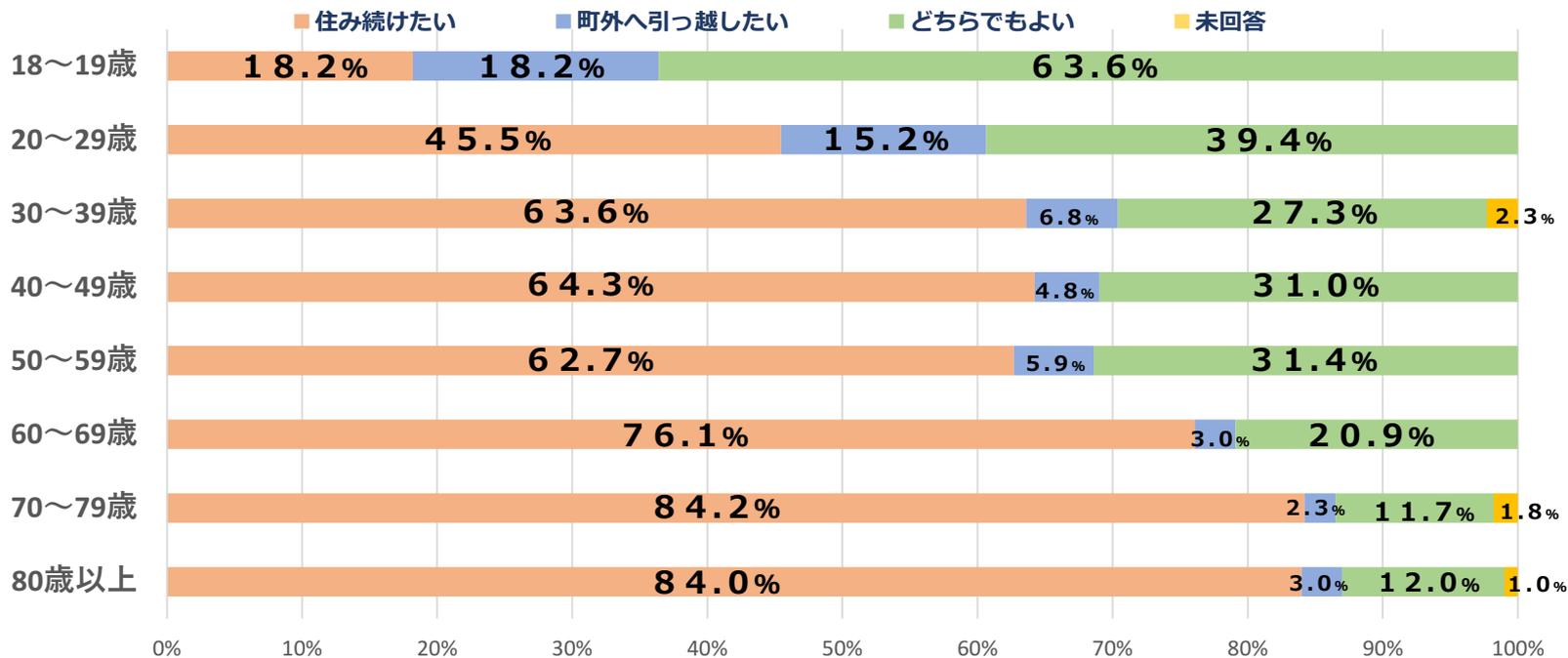


定住
の意思

③ 今後も住み続けたいですか？



▼年齢別回答割合



【Ⅷ】本町の魅力発信

主に「町外」向け



facebook 高知県四万十町 ～しあわせしまんとせいかつ～

2,915 フォロワー

四万十町フェイスブックで検索！



Instagram shimanto_town_official

7,421 フォロワー

四万十町インスタで検索！

Instagramの自治体公式アカウント
におけるフォロワー数は**四国内1位!**



四万十町公式YouTubeチャンネル

チャンネル登録者数 **955**

四万十町ユーチューブで検索！

① 三島の初夏 田植え



② ジップライン



③ 川遊びの楽園



④ こいのぼりの川渡し



主に「町民」向け



四万十町公式LINE

登録者数 **2,111**

四万十町ラインで検索！

※R05.03.07現在



インサイトを見る

宣伝



lifeisphoto.jpさん、他454人が「いいね!」しました

shimanto_town_official 雨の中ですが、見えない世界がある。🌿

#雨の日も楽しく
#しあわせしまんとせいかつ

【IX】 町外から見た本町の魅力

●地域ブランド調査（全国魅力度ランキング）

	R04	R03	R02	R01	H30	H29	H28
全国	81位	80位	96位	88位	62位	89位	36位
四国内	2位	2位	3位	3位	1位	2位	1位

◆地域ブランド調査とは… 全国3万人による自治体の通信簿

●2023年版 第11回「住みたい田舎」ベストランキング

※カッコ内は前回（2022年版第10回）順位

田舎暮らし／2023年1月号／宝島社

部 門	人口1万人以上 2万人未満のまち (118自治体中)	12エリア別 & 3世代別 (四国エリア48自治体中)
若 者 世代が住みたい田舎部門	1 位 (4 位)	3 位 (3 位)
子育て 世代が住みたい田舎部門	4 位 (12 位)	4 位 (6 位)
シニア 世代が住みたい田舎部門	21 位 (11 位)	一 位 (5 位)

